

平成28年11月4日

総務文教常任委員会会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成28年11月4日  
開会 10時45分 閉会 10時51分
- 2 場 所 幕別町役場3階会議室
- 3 出席者 委員長 寺林俊幸 副委員長 野原恵子  
委員 板垣良輔 小田新紀 岡本眞利子 千葉幹雄  
議長 芳滝仁
- 4 傍聴者 荒貴賀 内山美穂子 小島智恵 若山和幸 東口隆弘  
田口廣之 谷口和弥 小山繁樹 眞尾記者(勝毎)  
稲塚記者(道新)
- 5 事務局 事務局長 細澤正典 議事課長 澤部紀博 係長 佐々木慎司
- 6 審査事件
  - 1 付託議案の審査について
    - (1) 陳情第6号 忠類振興公社経営に関する陳情書
  - 2 その他
- 7 審査結果 別紙

総務文教常任委員会委員長 寺林俊幸

## ◇審査内容

(開会 10:45)

○委員長(寺林俊幸) ただいまから、総務文教常任委員会を開会いたします。

これより、付託議案の審査を行います。

陳情第6号、忠類振興公社経営に関する陳情書を議題といたします。

それでは、本陳情について各委員のご意見をお伺いいたします。ご意見のある方は挙手をお願いいたします。ご意見はございませんか。

岡本委員。

○委員(岡本眞利子) この陳情におきましては、陳情者の方のまちに対する今後の思いが書かれているのではないかと推測されるところであります。5年連続赤字ということで、町民の方にとっても大きな衝撃を与えていることから、このような陳情が出されているのではないかと思います。

したがって、この内容も若干食い違いのところもあるかと思っておりますので、もう少し時間を掛けて調査、そして、議論を重ねたほうが良いのではないかと私は感じるところであります。以上です。

○委員長(寺林俊幸) ほかの委員の皆さん、ご意見はございませんか。

野原委員。

○委員(野原恵子) 今、3つの所管に関わる委員会で、この忠類全体のことについて論議を進めているところでもありまして、そういう状況も踏まえながら、この陳情に対しましても十分精査していくことが必要ではないかと思っております。

陳情者の思いも受け止めているところではありますけれども、そういうことも、この総文でもっと精査いたしまして、進めていくことが必要だと思ひまして、きょうは、会期中の継続にいたしまして論議を進めていくことが大切なのではないかというふうに考えます。継続ですから、12月の定例会の前に結論を出すということの提案です。継続ということは。

○委員長(寺林俊幸) 今、野原委員のご意見の内容は、本日の臨時議会は一日でありますので、閉会中の継続審査ということでもありますね。

○委員(野原恵子) はい、そうです。

○委員長(寺林俊幸) ほかの委員の皆さん、ご意見はございませんか。

(なしの声あり)

○委員長(寺林俊幸) ただいま、岡本委員、野原委員より陳情第6号、忠類振興公社経営に関する陳情書は、さらに内容を検討するため時間が必要であると。また、併せて3常任委員会が合同委員会という中で議論を重ねている経過もあります。そのようなことも含めながら、閉会中の継続審査にするというご意見であります。

閉会中の継続審査とすることにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○委員長(寺林俊幸) 異議なしと認めます。

したがって、陳情第6号、忠類振興公社経営に関する陳情書は閉会中の継続審査といたします。

なお、閉会中の継続審査を行うにあたりましては、議長に委員長名で閉会中の継続審

査の申し出を行い、本日の臨時議会で決定される必要がありますので、ご承知おきください。

それでは、本日の委員会に付託されました議案の審査は終了いたしました。

◇内容（2 その他）

- 委員長（寺林俊幸） 次に、その他になりますが、陳情第6号が閉会中の継続審査となりましたので、次回の委員会の開催日について決定したいと思います。  
各委員からご意見等はございませんでしょうか。  
千葉委員。
- 委員（千葉幹雄） 委員長、副委員長に一任いたします。まず、調整してもらって決めてください。
- 委員長（寺林俊幸） それでは、次回の委員会の開催日について、千葉委員より、委員長、副委員長に一任というご意見がございましたが、それでよろしいでしょうか。  
（異議なしの声あり）
- 委員長（寺林俊幸） 異議がないようなので、開催時の日程につきましては、決定次第通知をさせていただきます。  
こちらからの議案は以上であります。皆さんからご意見等はございませんか。  
（なしの声あり）
- 委員長（寺林俊幸） ないようですので、これをもって本日の委員会を閉会いたします。  
（閉会 10：51）